

全国精神保健職親会 2024 年度 実施事業報告

1. 2024 年度 日本財団助成事業

(中小企業における精神・発達障害者雇用促進モデルの造成事業)

2020 年度から 2023 年度にかけて実施してきた「事例から学ぶワークショップ」事業の成果を踏まえ、さらに実践的な活動として、地域の中小企業を中心とする精神・発達障害者の雇用促進モデルを造成する事業に開始した。本事業では、各地域で企業団体が関わる就労支援ネットワークの活動をサポートするとともに、伴走型個別就労支援のスキームの地域実装を目指す取り組みを行っている。なお、本事業は事業期間を 2025 年度にまで延長して継続実施されることとなった。以下は 2024 年度分の活動実績である。

■ 本事業を通じて各地域で開催した研修会や活動状況

事業実施地域	活動内容
福島県	いわき市障がい者職親会が開催する以下のセミナーに共催し、会場費、広報費等を支援した。なお、いわき市障がい者職親会は今年度設立 30 周年を迎え、当会との共同企画でその記念大会を 2025 年 9 月 14 日に開催する予定である。 <ul style="list-style-type: none">● 2025/2/20 いわき地区障がい者就労支援セミナー
石川県	以下のワークショップやフォーラムを主催または共催 <ul style="list-style-type: none">● 2024/ 9/20 みんなが一緒に働く社会へ 金沢地域連携ワークショップ (金沢市)● 2024/10/25 第 2 回 ウェルビーイング経営未来会議 内発的イノベーションが作るウェルビーイング企業 (金沢市)
三重県	社会福祉法人 維雅幸育会との共催で以下のワークショップを開催 <ul style="list-style-type: none">● 2025/2/7 就労支援における施設外就労の有効性を考える ワorkshop in 伊賀
京都府	ニューロダイバシティ京都地域連携プロジェクト (ND Kyoto) への活動協力 ※ 2016 年から実施されている「業種・企業規模を問わず勉強・交流会する会」の分科会として、2023 年 4 月に発足。企業 12 社、支援機関 2 事業所と 2 大学でメンバーが構成され、ND 人財とは何か、ND 人財が活躍できる社内環境はどうあるべきかなどの議論を重ねている。
兵庫県	兵庫県精神障害者就労支援事業所連合会(職親会)が開催する以下の研修会を後援 <ul style="list-style-type: none">● 2025/2/8 「IPS 就労プログラムから学ぶ精神障がい者の就労支援のありかた」
島根県浜田市	浜田圏域自立支援協議会 就労支援部会が主催する研修会に共催団体として協力 <ul style="list-style-type: none">● 2024/11/29 浜田地区 障害者雇用「事例から学ぶワークショップ 《個別性を重視した就労支援と障害者雇用を支えるネットワークづくり》
福岡県北九州市	「事例から学ぶワークショップ」事業(2020-2023 年度)で開催した北九州ワークショップでのご縁から、地域の就労支援ネットワーク構築への機運が高まり、以下の勉強・交流会を開催するに至った。 <ul style="list-style-type: none">● 2025/3/28 「第1回 業種・規模を問わず障害者雇用について学ぶ 勉強・交流サロン in 北九州」

■ 制作物

- 啓発機関紙「しごと Mentor」 7 号
- ワorkshop開催レポートや講演動画を掲載する Web ページ

2. JKA 補助事業（SPIS 普及啓発活動）

1. 就労支援におけるクラウド型支援ツールの活用に関する地域研修会の開催
2. メンタルケアの向上につながる職場内コミュニケーションについて啓発する活動

- 公開研修会の主催・共催（下表）

開催日	開催地	研修会名	主催、共催、後援、協力等
2024/7/30	東京都	SPIS ユーザー会（東京）	共催：NPO法人全国精神保健職親会 一般社団法人SPIS研究所 有限会社奥進システム 協力：NRI みらい株式会社
2024/10/4	東京都	第5回 業種・規模を問わない勉強・交流会	主催：NPO法人全国精神保健職親会
2024/10/17	オンライン	SPIS なかぼつユーザー情報交換会	共催：NPO法人全国精神保健職親会 一般社団法人SPIS研究所
2024/11/19	大阪府	SPIS ユーザー会（大阪）	共催：NPO法人全国精神保健職親会 一般社団法人SPIS研究所 有限会社奥進システム
2024/11/22	福島県 郡山市	SPIS ミニセミナー スタートアップ編 in 福島	主催：NPO法人全国精神保健職親会 共催：（一社）福島就業支援ネットワーク
2025/2/12	東京都/ オンライン	事業報告会&名刺交換会「SPIS の今後に向けて」	共催：NPO法人全国精神保健職親会 一般社団法人SPIS研究所 有限会社奥進システム
2025/3/4	京都市/ オンライン	第8回 京都の企業と支援者の研修会 （SPIS 京都モデル事業報告会）	主催：NPO法人全国精神保健職親会 協賛：京都障害者雇用企業サポートセンター

- 産業保健分野や企業内での外部発表 1回(下表)

開催日	開催地	研修会名・開催者	発表内容
2025/3/5	神戸市	障がい者雇用セミナー （神戸市委託）市内企業・事業者に対する 障害者雇用促進・支援業務	当会理事 境 浩史（株式会社 島津製作所 人事部）が、SPIS の社内運用事例を講演

- ツール導入時およびフォローアップの個別研修（企業3社、支援機関3事業所で計33名参加）
3. クラウド型支援ツールにかかる啓発コンテンツの制作
 - SPIS を導入する就労支援事業所での活用例を紹介する動画の制作およびWeb公開
 - SPIS ミニセミナー スタートアップ編 in 福島（2024/11/22）での収録動画の Web 公開
 - SPIS 導入事業者アンケート調査の実施と調査結果報告書の編纂・発行
 4. クラウド型支援ツールの OJT の提供
 - 地域でコアとなり得る支援機関の育成(京都、福島の2地域でモデル事例を蓄積)
 - 上記2地域でのモデル事例を含め 10事業者 35 事例の OJT を提供

3. SPIS 有償展開

- 収益:6,522(前年度;6,024)千円 → 補助・助成事業の自己負担金および他事業経費へ
 - 売上:8,878 (前年度:8,478 予算 8,500)千円
 - 経費:謝金/旅費 1,949(千円)、保守費 330(千円)、広報費など 77(千円)
- 主な新規導入先、運用状況など
普及啓発の対象を精緻化して活動を行った結果、新規導入案件が増える結果となった。特に企業ユーザーと障害者就業・生活支援センターでの導入実績を拡大させられたことが、その成果と考えられる。
- 事業運営方針
 - vfoster、SPIS 研究所、奥新システムの三者が協力しながら一体的なサービスを提供する体制を整備する。

4. 「業種・規模を問わない勉強・交流会」 in 東京

コロナ禍前まで継続開催していた「vfoster サロン」をリメイク

- 2024/ 5/15 株式会社東京ドームウィズ 様の見学と情報・意見交換 参加者 31 名
- 2024/10/ 4 都内会場にて SPIS を活用した雇用管理の実践報告 参加者 34 名

5. 「精神障がい者と家族のための市民公開講座」

- 認定 NPO 法人地域精神保健福祉機構(COMHBO)、公益社団法人全国精神保健福祉会連合会(みんなねっと)、一般社団法人日本うつ病センター、大塚製薬株式会社と企画・共催
- 東京都内からオンライン配信
 - 2024/ 6/29 「ひきこもりを理解し、誰もが生きやすい社会を考える」
 - 2024/11/24 「統合失調症を理解し、より良く生きる」

6. 広報活動

- vfoster ニュース 54-56 号の発行
- 会員募集パンフレットの改訂・配布
- ホームページによる情報提供

7. 2024年度 決算状況について (別紙 2 参照)

2024 年度事業は 1,261,104 円の赤字決算となった。要因と今後の影響は以下の通りである。

- JKA 補助事業において委託調査の内容を大幅に拡充した結果、外注費が大幅に増大した。
- この調査成果を踏まえ、企業のマネジメント層を対象に SPIS の啓発強化を行うという今期の活動方針が打ち出された。このことにより SPIS の企業向け導入案件の増加が見込まれる。

以上